

事務事業名	政務活動費交付事務		会計	一般会計	実施区分	継続		
			事業種別	政策	開始	終了		
H29作成課等名	議会事務局	H29係等名	調査係	H28担当課等名	議会事務局			
基本計画上の位置づけ	政策	9	市民と共に進める行政経営					
	施策	91	市民参画による協働の促進					
目的	対象(誰・何を)	飯田市議会議員 (交付金の交付先=会派(無会派含む))			対象指標	指標名及び単位	28年度数値	
	意図(どうい状態にするか)	市政に関する調査研究活動ができ、議員活動の状況を市民に知ってもらえる。			①飯田市議会を構成する会派(無会派含む)数		5	
	向上させたい上位施策の成果指標	協働のまちづくりが進められていると感じている市民の割合			②飯田市議会議員の現員数		23	
目標	種別	指標名及び単位		27年度計画	27年度実績	28年度計画	28年度実績	備考(指標変更など)
	成果指標	議会の代表質問・一般質問等に於いて、取り上げた調査項目数		30	29	30	27	
	副指標	政策提言等により実現した政策等						
定性目標								
事業概要	<p>・市議会各会派等では、市の課題解決に向け議会として提言するため、先進事例視察など各種調査研究活動を行う。その調査研究活動の支援のため、市から各会派等に対し議員一人当たり年額14万円の政務活動費を交付する。 ※政務活動費の活用に関しては、議会として「申し合わせ事項」を作成し、一定のルールに基づき執行している。 28年度は、他県の議会を発端とした政務活動費をめぐる一連の事件から、点検を行い、「申し合わせ事項」の一部見直しを行った。 ・年2回、政務活動報告会を開催し、市側の部課長にも出席願ひ報告を行っている。報告の概要は市議会だより、市の公式サイト、各会派広報誌に掲載し市民に周知している。 ・政務調査費を活用した主な活動は次のとおり 市政課題の調査研究、先進事例等の視察・議員研修・セミナーの受講 ・上記の調査、視察研修に基づく代表質問、一般質問での課題に対する提言及び会派による市への次年度予算要望活動</p>							
28年度事業内容	事業内容			名称		活動指標		
	1 政務活動費を活用した調査研究活動			1 調査研究項目件数		1 24件		
	2 政務活動調査報告会の開催、市民への周知			2 報告会回数		2 2回		
	3 各会派への交付			3 交付額		3 3,059千円		
事業コスト	27年度決算額	28年度予算額	28年度決算額	29年度繰越額	特定財源内訳、補足			
事業費計(千円)①	3,203	3,220	3,059	0				
国庫支出金								
県支出金								
起債								
その他								
一般財源	3,203	3,220	3,059					
人件費計(千円)②	1,788	0	1,788	0				
正規職員所要時間	500		500					
臨時職員所要時間								
総事業費①+②	4,991	3,220	4,847	0				
事業内容・目標達成状況の振り返り	<p>・政務活動費は、議会の「申し合わせ事項」に則り、ルールに基づき各会派で活用された。 ・政務調査報告会を29年第1回定例会開会前の2月20日に開催。市民、市職員、報道機関向けに事前告知した。(議会だより、ホームページ、地元紙記事掲載)</p>							
改革改善の考え方	①問題点	<p>・全国の地方議会で起こった政務活動費の不正受給等により、その用途について、市民の関心も高い。政務活動費の用途について、より透明性を高めるため、適正な支出、政務調査活動の報告など、情報を公表する必要がある。</p>						
	②改革提案	<p>・議会の「申し合わせ事項」の見直しを行い、28年度交付分から、収支報告書、会計簿、支出伝票(領収書添付)及び政務調査研究報告書をホームページに掲載する。議会図書室にも資料を配置し、市民が閲覧できるようにする。</p>						